

講義名	グローバルロジスティクスマネジメント論			
担当教員	李 志明			
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限	授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

主題と概要				
<p>今の企業は、国を問わず、世界中で事業している。各国に適した製品を生産し、商品や物流の品質管理をしなければならない。これがグローバル・ロジスティクス・マネジメントである。そして、その時英語は不可欠である。</p> <p>講義を通して、グローバル・ロジスティクスにおける多様な要素や実態そして課題を理解する。また、大学生として知っておいてもらいたいロジスティクスの内容を英語で理解する。</p>				

到達目標				
<p>(1)ロジスティクスやサプライチェーンが国際的に展開される実態が理解できる。 (2)日本企業の海外進出動向と世界貿易動向が理解でき、その仕組みと課題が理解できる。 (3)物流やロジスティクスについて英語で理解することができる。</p>				
提出課題				
<p>(1)オンデマンド式講義の参加確認と理解確認のため、Responで小テストを実施する(8回)。 (2)課題字彙型(自分で資料を読み理解)として、Responで小テストを実施する(2回)。 *実施日については講義連絡を必ず確認すること。</p>				

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック				
<p>小テストの解説と、質疑や意見に対してフィードバックする。 ただし、やむを得ず欠席した学生に時間を与えるため、基本的には2週間後に行う。</p>				

評価の基準				
<p>小テスト(各10点)、総100点満点で評価する。 *講義形式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない。</p>				

履修にあたっての注意・助言他				
<p>15回のうち、6回は英語資料を使う(説明は日本語)。大学生として読解できるほどの内容であるが、必ず予習しておくこと。ただし、英語の文法ではなく、内容を理解すること。</p>				

教科書				
.使用しない。				

プリント資料及び参考文献				
<p>オンデマンド式であるため、レジュメは配布しない。 ただし、授業内容によって必要な場合は適宜配布する。</p>				

授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル・ロジスティクス・マネジメント論の理解と注意点 2. ロジスティクスの概念とグローバルロジスティクスの展開 3. Amazonのロジスティクス(*英語資料) 4. Amazonから考えるロジスティクスの重要性(同上の資料) 5. 企業の国際化とグローバルロジスティクスマネジメント 6. 企業施設の国際間移動の要因と課題 7. データからみる世界の国際輸送 8. 課題字彙型: 語彙のグローバルロジスティクス 9. グローバルロジスティクスの担い手 10. コールドチェーンシステム(*英語資料) 11. 新鮮食品のロジスティクス(同上の資料) 12. ORロジスティクス(*英語資料) 13. ZARAのロジスティクス(同上の資料) 14. 課題字彙型: 語彙のグローバルロジスティクス 15. グローバルロジスティクスマネジメントの再考察 				

授業形態(アクティブ・ラーニング)				
	ア: PBL(課題解決型学習)		イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
	ウ: ディスカッション、ディベート		エ: グループワーク	
	オ: プレゼンテーション		カ: 実習、フィールドワーク	
	キ: その他(ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)			

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>この授業科目は2単位であるが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められている。内訳は授業で毎回90分、予習・復習で毎回4時間である。講義後の小テストのためにでも、約1時間復習する。また、次の講義についてネットなどから概念(また英語資料)を約3時間ほど学習する。</p>				

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>ロジスティクスは流通や企業経営における戦略であるため、DPの「流通と企業マネジメントにおける課題解決を提案すること」に貢献できる。また、企業のグローバル・ロジスティクス戦略を理解し、DPの「具体的な改善策の提案ができる」ようになる。</p>				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>Responで質問または意見を受け付ける。対面式またはLive式に変更があった場合でも、Responで事前知識などのアンケート調査をしたり、チャットなどで質問などを受け付ける。</p>				

実務経験の有無及び活用				
<p>実務経験あり。 物流データの分析と物流政策立案の支援の経験があり、民間企業や政府の考え方や仕事のやり方などを伝え、現実感のある授業を提供する。</p>				
備考				